

鉄道総研の国際活動

International Activities of RTRI

海外の研究機関・大学等との共同研究活動、鉄道関係の国際会議への出展、鉄道総研の研究開発活動の紹介に関する刊行物、海外からの訪問者・実習生の受入れ等を通じ、鉄道総研の研究開発活動の国際化をサポートしています。

【共同研究】

海外の研究機関、大学等と共同研究の協定を結び、共同研究活動を行っています。

・日仏共同研究

1995年よりフランス国鉄(SNCF)と共同研究を行っています。本年9月に日本で共同研究セミナーを開催予定です。

・日英共同研究

2008年10月に英国の鉄道安全標準化機構(RSSB)と共同研究を開始しました。安全評価等の分野について意見交換を実施しています。

・日中韓共同研究

2001年より中国鉄道科学研究院(CARS)、韓国鉄道技術研究院(KRRI)と共同研究を行いセミナーを年に1度開催しています。本年は11月に鉄道総研が主催の予定です。

・その他の共同研究

上記以外に、チャルマース工科大学(スウェーデン)、スイス連邦鉄道(スイス)、マサチューセッツ工科大学(米国)等の海外の大学、鉄道事業者との共同研究を実施しています。



日中韓共同研究セミナーの様子(2011年11月・北京)



SNCF訪問(2012年3月・パリ)

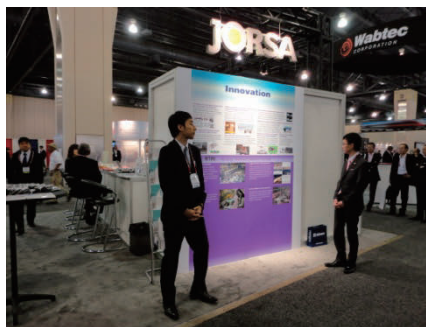
【国際会議】

鉄道に関する国際会議へ積極的に出展・参加し、情報の収集を行うとともに、職員による国際会議での論文発表等を支援しています。

2011年度は、2011年5月にフランスのリールで開催されたWCRR2011へ参加し、論文発表・技術展示等を行ったほか、2012年1月に米国のワシントンDCで開催されたTRB(米国運輸研究会議)へ参加しています。また、2012年度は、2012年7月に米国のフィラデルフィアで開催されたUIC High Speed 2012へ出展・論文の発表を行った他、9月にドイツのベルリンで開催予定のInnoTrans 2012へ出展を行い、鉄道総研の研究開発活動のPRを行います。



WCRR2011の会場の様子



UIC High Speedの鉄道総研展示パネル

【情報発信】

鉄道総研の紹介や、研究開発の成果等を海外に発信するため、

- ・鉄道総研紹介パンフレット(英語、中国語)
- ・ニューズレター(英語):最新の研究開発活動の紹介
- ・アニュアルレポート(英語):鉄道総研の1年間の活動のまとめ

を作成しています。鉄道総研のホームページよりダウンロード可能です。

【その他】

- ・外国人による鉄道総研見学対応

鉄道総研の研究開発を広く理解していただくことを目的に、外国人の鉄道総研見学を受け入れています。2011年度は、のべ282名の外国人訪問者を、韓国、中国等のアジア各国、ヨーロッパ、北米など世界各地から受け入れました。

- ・外国人研究者・実習生の受入れ

共同研究やインターンシップとして、外国人研究者・実習生の受入れを行っています。最近では、Imperial College London(英国)、ESTACA(フランス)、東京工業大学大学院の学生等を受け入れています。



各種刊行物



英国人実習生による発表(2011年10月)

公益財団法人鉄道総合技術研究所
国際業務室 国際